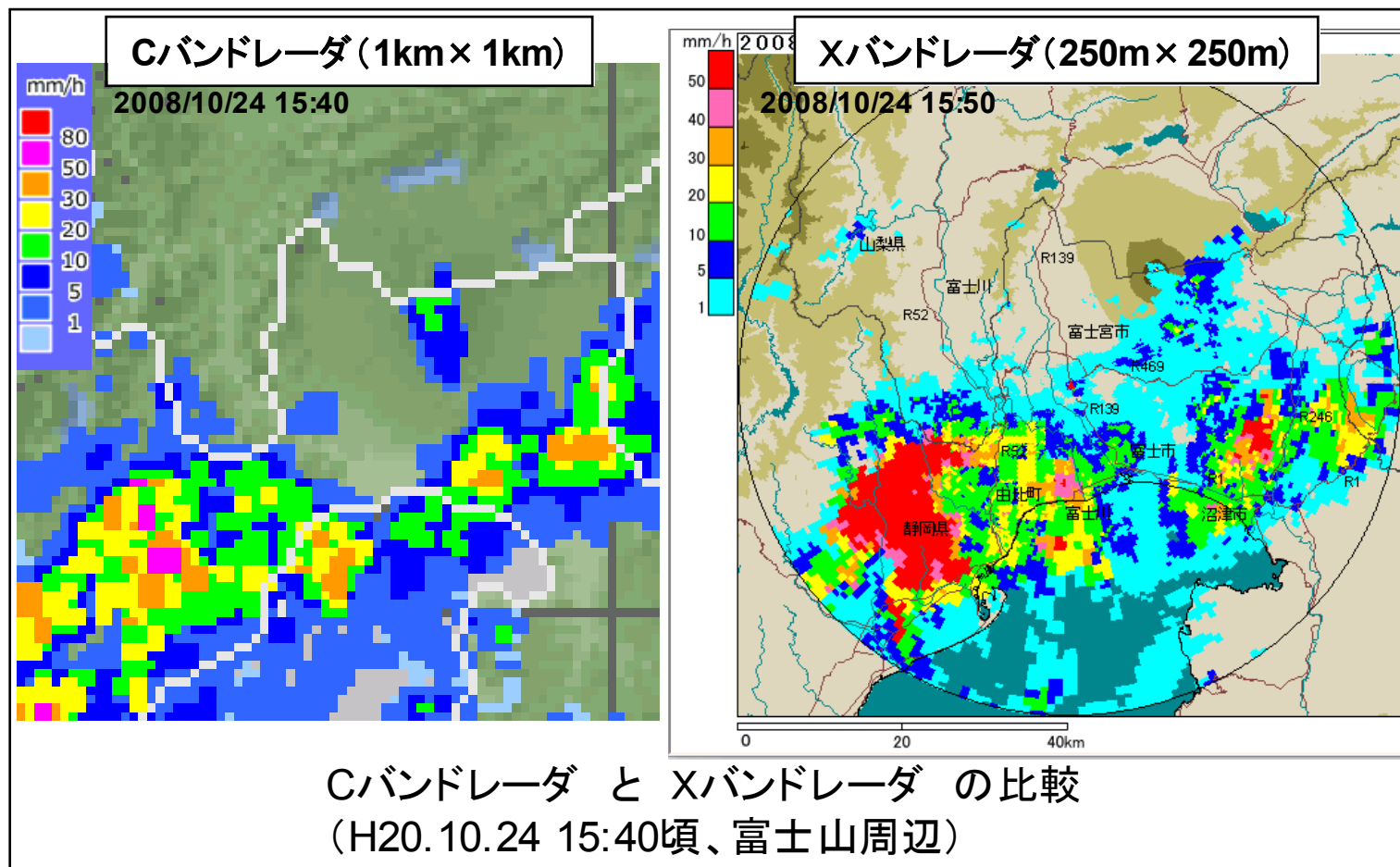


富士砂防事務所では、平成14年度にXバンドレーダを導入。山地風の影響で地上雨量計では計測が難しい山腹の降雨状況が把握可能となり、土石流発生予測を含めた災害対策に役立っている。また、地元自治体にもデータを提供中。



Xバンドレーダ雨量計  
(富士砂防事務所屋上)



空中線装置

このほか、雲仙復興事務所、大隅河川国道事務所においても導入済みである。